

高質な田舎づくりに向けた実践フォーラム

# 秋田の活力2016

※「高質な田舎」とは  
豊かな自然環境、祭りや文化が息づく風土、誠実な人柄など、  
心が安らぐ本来の日本らしさを感じることができる地域のこ

**入場無料**

※定員150名  
申込は裏面へ



新庄内SP実行委員会  
(大館市新庄内)



神代活性化協議会  
(仙北市田沢湖)



シェアビレッジ町村  
(五城目町)

水土里の野菜倶楽部 (秋田市仁井田)

日時

平成28年2月20日(土)

13:30~16:30

会場

ホテルメトロポリタン秋田  
3階 グランデ

住所：秋田市中通7-2-1 (秋田駅直結)

主催：秋田県

後援：国際教養大学  
水土里ネット秋田

基調講演

「農と消費者の橋渡し」

NPO法人東北開墾 代表理事

高橋博之氏



[プロフィール]

一般社団法人 日本食べる通信リーグ 代表理事。特定非営利活動法人 東北開墾 代表理事。“世なおしは、食なおし”のコンセプトのもと、2013年に特定非営利活動法人「東北開墾」を立ち上げる。史上初の食べ物つき情報誌「食べる通信」編集長に就任し、創刊からわずか4ヵ月で購読会員数1,000人超のユニークなおピニオン誌に育て上げる。2014年、一般社団法人「日本食べる通信リーグ」を創設。『四国食べる通信』、『東松島食べる通信』など、すでに21誌が誕生。“都市と地方をかき混ぜる”というビジョンを掲げ、3年間で100の「ご当地食べる通信」創刊を目指し、日本各地を飛び回っている。

# 「秋田の活力2016」とは？

過疎・高齢化などにより、農山村地域の活力が減退する中、現状を打開し地域活性化を図るため、県は国際教養大学と共催で、平成17年度から10年間、農山村地域の資源を活用し地域ぐるみの活性化を担うコーディネーター（Akitaふるさと活力人）を育成してきました。

本年度から第2段階として、コーディネーター等が関わる地域での実践活動を支援しており、今回のフォーラムは、その活動の実施状況と改善できる点について、意見交換し、取組の磨き上げを図るとともに、各地域での新たな取組に結びつくよう、開催するものです。

司会：稲村理紗（NPO法人あきたコアセンター）

- 13:30 1. 開会  
開会挨拶 秋田県農林水産部次長 倉部明彦
- 13:35 2. 基調講演「農と消費者の橋渡し」  
NPO法人東北開墾代表理事 高橋博之
- 14:30 3. 事例発表・パネルディスカッション  
「地域活性化の取り組み事例と今後の展開」  
パネリスト  
・シェアビレッジ町村 武田昌大  
「年貢を納めて村民に！？五城目シェアビレッジプロジェクト」  
・釈迦内SP実行委員会 日景賢悟  
「共に創る豊かな未来～ひまわりの郷 釈迦内2015～」  
・神代活性化協議会 浅野慎太郎  
「6次産業体験で地域の担い手育成事業」  
・水土里の野菜倶楽部 嵯峨秀樹  
「伝統野菜復活と都市農村交流」  
進行 国際教養大学教授 熊谷嘉隆  
アドバイザー NPO法人東北開墾代表理事 高橋博之
- 16:10 4. 県施策の紹介 秋田県農林水産部農山村振興課  
16:30 5. 閉会

## 秋田県農林水産部農山村振興課

fax 018-860-3815

メール nosanson@mail2.pref.akita.jp

※参加ご希望の方は、右の参加申込書に記入の上FAXまたはメールにてお申し込み下さい  
(定員になり次第締め切らせて頂きます)

申込期限：平成28年2月17日(水)

【問合せ】

住所 〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1

電話 018-860-1851 受付時間：月～金曜 8:30～17:15

## 参加申込書

ふりがな	
氏名	
所属	(例：〇〇町地域おこし協力隊)  <input type="checkbox"/> ふるさと水と土指導員 <input type="checkbox"/> Akitaふるさと活力人( 期)
連絡先	( ) - ※定員に達した場合お電話する可能性がありますので必ずご記入下さい(携帯電話の番号も可)